



千話万来

2020年1月 266号



株式会社シイビシー 茂木健志・小玉亜衣

TEL027-266-6855/FAX027-266-6856

E-mail lcbbc@linxcbc.co.jp

URL <http://www.linxcbc.co.jp>

〒379-2121 群馬県前橋市小屋原町1082-3

新春の候、貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。令和になって初めてのお正月はいかがでしょうか。年始におすすめるのが、今年目標を立てることです。自分がどこに進みたいのか、何者になりたいのか、これから先どんな人生を送りたいのか、仕事とはどんな風に向き合っていきたいのか。頂上にたどり着くには何年で目指したいのか、今年一年でどこまでを目指したいのか、出来るだけ具体的に表現することで、やるべきことも明確になってきますし、一年後に達成したかどうかの確認がしやすくなります。今年も皆様にご幸多ありますようお願い申し上げますとともに、本年も変わらぬお付き合いをお願い申し上げます。

— 人材育成と改善、開発を進めていますか？ —

日常業務を滞りなく円滑に進めることも大事ですが、人材育成、業務改善、品質改善、新製品、新サービスなどの開発(改良)も並行して進められなければ、企業は永続できません。

目先の今日の今回の仕事を終わらせることばかりに気を取られては、人材も企業も成長できません。そうは言っても、一見急ぎではないような仕事を日常業務に追われている中で、並行して進めることは、容易ではありませんよね。大きな企業では、それぞれの仕事を分担して、専門的に進められるからいいのですが、中小企業の場合、経営者と現場が将来へ向けての投資(人材育成、業務改善、品質改善、新製品、新サービスなどの開発(改良))を任務とし、危機感を持って積極的に取り組まなければなりません。

売り上げを上げることに必死になり過ぎて、これらの大切な任務を見失ったり、見ないふり、気づかないふり、根拠のない「きっとこのまま頑張れば大丈夫」と自分に言い聞かせたりしていませんか？ 社会情勢は日に日に変わっていき、先が読めません。気づいたときには、ウサギと亀のウサギのようにずっと後ろにいたと思ってた亀に抜かされていたり、浦島太郎のように、気が付いた時には周りの状況が進んでいたなんてことになってしまいます。

一生懸命やっているのに、毎日忙しいのに、利益が出ない。なかなか人が育たずに生産性が上がらない。今まで投資を怠ってきた分のつけが回ってきています。今からでも、先のことを考えて、日常業務と並行しながら、人材育成、改善、開発と真剣に向き合しましょう。

管理職の仕事の三本柱

日常業務

- ・ 運用
- ・ いかにか効率的に問題なく業務を遂行するか

部下育成

- ・ 投資
- ・ 明日の戦力強化の為に教育を行う

戦略

- ・ 貯金
- ・ 3年後の組織を予測して考え、そこへ向けての準備、段取りをする

— 貴社の必要性に応じた社員研修を考えてみませんか？ —

今の貴社にとって、何が必要なのか、どこから手を付けなければいけないのか、日常業務をこなしているだけでは身につかないこともたくさんあります。動き出すためには、最初に押し出す力が必要です。目的地が決まったら、向かうための道を選び、注意事項確認しながら進むことが大切です。いろいろな立場で働く人たちが、それぞれ働きやすくなるように研修のカリキュラムを考えています。お気軽にご相談ください。

今の貴社にとって何が必要なのか、どんな研修が必要なのか、一緒に考えてみませんか？

「改善・開発」の必要性 どうして改善や開発が必要なのか？

☆顧客の要求は時代と共に変化している

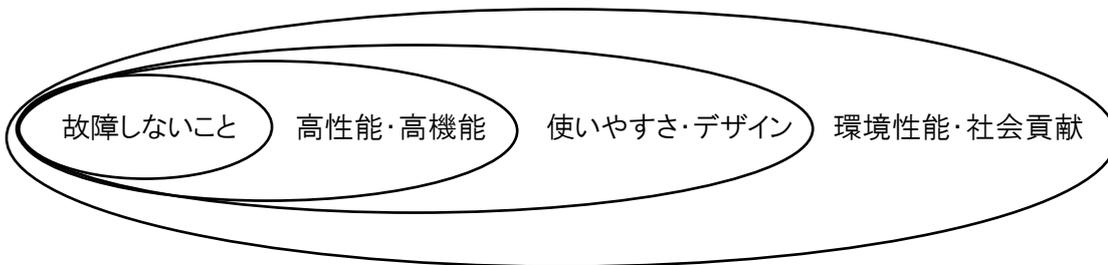
- ・ 昔は故障しないことが最優先
- ↓
- ・ 技術力・現場力が向上して故障が少なくなった
- ↓
- ・ 高い性能・機能が求められるようになった
- ↓
- ・ 多機能になりすぎて使いこなせない
- ↓
- ・ 誰でも容易に使える製品へのニーズが高まった
- ↓
- ・ おしゃれなデザインや省スペース、静音。低振動、環境に配慮した製品などが求められている

日々求められるものが変わってくると共に高い設計品質と製造品質が必要となっている



「日々の改善が必要」と共に 変化に対応出来る柔軟性を持った人材が必要

(変化に対応するための知識や技術も必要)



☆いま必要な答えを導き出せるかどうか ☆

多くの業界で、これまでのやり方が通用せず、売っていたものが売れないという状況が起きています。

「ものが売れない時代」には、何かを変えて行く必要があります。

「売り方」なのか「見せ方」なのか「商品自体」なのか

「どうすればもっとお客様を喜ばせることができるのだろうか？」と「クリエイト」していくことが必要です。

クリエイトするために「いま身につけるべき3つの力」・疑う・感じる・ひらめく

びっくりするくらい成長している企業は、どこも共通して革新的です。

社員の士気が高く、それがひしひしと伝わってきます。

その会社の大切なものは残しつつも、これまでの常識にとらわれず、いかにゼロから、独自の答え(価値)を導き出すことが出来るかが鍵です。